



写真：ツタウルシ（撮影：平成27年5月31日）

# 「ツタウルシ」

ツタウルシは、幹から空中に根を出して、ほかの樹木などに巻き付いて成長します。

**雨**の季節がやってきました。えびの高原は、霧につつまれ静かな空気が流れています。

えびの高原内に生息しているアカマツは、火山の荒地でも育つ、えびの高原を代表する植物のひとつです。名前のとおり、赤みがかった樹皮が特徴です。

アカマツ林を歩くと、アカマツの幹からんだ丸い葉のついたかずらが目につきます。これは、ツタウルシです。ぐるぐるとアカマツを巻き登り、樹冠まで届いているものもあります。

ツタウルシは、ウルシの仲間、幹から空中に根を出して、ほかの樹木などに巻き付いて成長します。ほかの樹木を利用して高く登り、より日の当たる場所へ葉を広げることができます。

ツタウルシの葉の新緑は美しく、秋には鮮やかな紅葉を見せてくれますが、人によつては、触れるとかぶれを起こすことがあるので、注意しましょう。

（文／えびのエコミュージアムセンター）

ツタウルシ  
*Rhus ambigua*

ウルシ科ウルシ属